

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年8月23日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

2日目

## 令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	佐世保市	代表者名	朝長 則男
担当者部署	観光商工部	連絡先電話番号	0956-37-6112
担当者役職	係長	担当者氏名	鳥本
連絡先E-mail			
住所	857-8585 長崎県佐世保市八幡町1-10		

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	「地域全体のDX」に取り組むうえで、今年度は「広報DX」の重要性について、第3回目のワークショップ開催に向けた内部支援者を対象に助言をしていただいた。また、この取組みの核となる「佐世保市産業支援センター」が今年度実施している「リブランディング事業」の進捗状況と今後の在り方についても、講師の意見や参加者からの意見を確認する機会となった。
アドバイザーへの要望事項	第3回の開催に向けて、参加を依頼する方のリストアップに助言を頂きたい。（第2回目に了承していただいている）

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年7月8日	講演(実地)	有	令和4年8月9日	192
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和4年8月18日	支援・助言（オンライン）	15時00分	16時45分	
				活動時間（分）	105
3-2. 派遣場所	会場名	佐世保市産業支援センター	最寄駅	佐世保駅	
	所在地	佐世保市松浦町5-1	最寄駅からの交通手段	バス・タクシー	

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	行政職員、支援機関、連携機関	10人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	
	支援機関や連携機関として、「IT化」や「DX」への支援を行っているものの、何のためにやるのか目標が共通でない。例えば、成功している都市や先行事例について情報共有したり、支援方法について考えるコミュニティやプラットフォームが無い。	
	支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	
	支援機関や連携機関が「地域全体のDX」の取組みを共通の目標であることを確認し、同じ方向を向いて、地方でやるべきことを意見し合いながらコミュニティづくりを行う体制を構築すること。中小企業支援に捕らわれるのではなく、大企業も含めチャレンジ支援をする必要性があり、支援機関はマドラーの役割を果たすことが必要である。	
	アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	
	「地域全体のDX」に取り組むうえで、今一度「IT化」と「DX」の違いを確認しながら、広報DXの役割を理解した。また、地方にいけばいくほど、中小企業支援に捕らわれているが、大企業も含めチャレンジ支援をする必要性があり、支援機関はマドラー（かき回す）の役割を果たすことが必要である。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	国が掲げる「デジタル田園都市構想」への理解と、地方が取り組むべき課題を参加者で認識した。佐世保市産業支援センターが今年度取り組んでいる内容について進捗報告を行ったが、専用のWebサイトを構築することで、伝える方法は新しくなっているが、ビジョンについてはアドバルーンのように高く目立つ目標を設定して変えていった方がいいということを、講師から指摘を受け、更に見直しながら進めていくことを再確認した。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	第3回目ワークショップの参加者として、事業者の巻き込み方について。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 第2回目も支援機関や連携機関を対象に助言を受けたため、アンケートは実施していない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	「地域全体のDX」という大前提は変えず、それぞれの取組みをそれぞれの立場で情報発信し、分かり易く伝える「広報DX」への理解を深める。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。  
 なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



